「廻沢理工学部 1 期入学の思い出」

1970 年 3 月卒業　久留井和男

広島から上京し、理工学部創設の年に入学した当時、校舎はまだ一部が工事中で、完成を待ちながらの新生活が始まりました。 1、2 年次は各学科が混合クラスで、異なる分野を志す仲間と共に学び合えたことは貴重な体験となりました。

先生方とも距離が近く、授業中にも気軽に質問や対話ができたのは、新設学部ならではの恵まれた環境だったと思います。 広い校舎に対して学生の数はまだ少なく、のびのびと過ごすことができたのも楽しい記憶です。

課外活動ではマンドリンクラブに所属し、練習や演奏会のために渋谷へ通ったことも良い思い出となりました。 地方からの上京で不安もありましたが、仲間や先生方に支えられ、新しい学びと友情、音楽活動が重なったあの頃は、私にとってかけがえのない青春の時間でした。

※ギャラリー「廻沢キャンパス創設時の風景」で、他の写真を多数アップしています。

廻沢キャンパスの見学（一号館も建設中）

1969 年当時の正門　正面に広大な畑

グランドにて学友と（中央が筆者）

完成した一号館とチャペル（右）